令和８年度一関地方農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

一関地方においては、大区画圃場整備地域での大規模稲作や飼料用米、WCS 用稲、麦、大豆作経営、中山間地域における野菜、花き、畜産等との複合経営、平坦部における認定農業者への機械作業委託など多様な農業経営が展開されており、それぞれの地域の特色を活かした農地利用を進めていく必要がある。

一方、生産者の高齢化、担い手の減少、未相続の農地や賃貸借契約終了に伴う耕作の中止などにより、自己保全管理などの不作付農地が増加傾向にある。

水田の活用方針については、主食用米と畑作物などの転作作物を組み合わせた収益性の高い取り組みを推進しており、加工用米や飼料用米などの新規需要米の作付けが拡大してきたが、近年の主食用米の価格の高騰により、主食用米への作付回帰が増加している。

また、園芸作物については、東北あるいは県内有数の産地である品目もあることから、それらを中心に流通体制の整備や安定供給を図り、個性ある産地確立のために作物生産の維持・拡大が課題となる。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

稲作と他作物を組み合わせた収益性の高い水田農業を推進するとともに、水稲のほか、野菜、花き等の園芸作物の導入と麦、大豆、WCS 用稲等の土地利用型作物の振興により、効率的で収益性の高い農業の推進を図る。

園芸作物については、温暖な立地条件を最大限に生かした産地の確立を目指し、トマト、きゅうり、なす、ピーマンなどの野菜、小ぎく、りんどうなどの花き類の栽培や作付拡大を推進し、多様化する流通に対応できる産地体制の整備を進める。当協議会では高収益作物のうち、これらの重点的に振興を図る作物を「地域振興作物」として設定し、個性ある産地確立を推進していく。

新たな市場・需要の開拓については、最近の主食用米の需給の状況から、内外の米の市場を注視し、新市場開拓の拡大を検討する。

麦、大豆、WCS 用稲については、実需者の要望に対応した高品質生産、低コスト生産を進める。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

一関地方における水田農業経営は、ほ場整備が終了し担い手が耕作を引き受けている地域や、大規模稲作農家が稲作作業を受託している地域、山間部において担い手が少なく耕作地が減少している地域など、地域によって様々な状況が併存している。

しかしながら、全域では、農家の高齢化が進み、また、今後の農業の担い手の不足が明らかとなっており、水田を有効に活用するため、集落ぐるみで体質の強い農業を確立する必要がある。

このため、集落の農業の特徴や、ほ場整備の状況、担い手の現状等を踏まえ、集落の話し合いによる合意形成をもとに、集落の実情に応じて今後の農業の担い手を明確化するとともに、農地中間管理機構と連携を図りながら、担い手への面的利用集積を促進する。

また、農業の持続的な発展を図るため、集落ごとの実情に応じて担い手を育成・確保するとともに、担い手を安定的な経営体に発展させるため、個々の経営体のもつ経営資源にあわせて水稲単一経営から複合経営による園芸農業への展開や農地中間管理事業等を活用した規模拡大を促していく。

また、ほ場整備実施地区を中心に、収量向上に向け連作障害を回避するための取組を推進し、引き続きブロックローテーションを促していく。

4　作物ごとの取組方針等

⑴ 主食用米

安全・安心な主食用米の安定供給を第一とし、特別栽培米、天日乾燥米、有機栽培米などの特色ある米づくりを継続し、他産地との差別化と実需者との継続的な結び付きを維持、強化する。また、作付前に適正な需要量の把握に努め、事前契約数量の拡大などにより、需要の安定確保を図る。

また、県のオリジナル品種である「金色の風」、「銀河のしずく」の作付拡大や、産地ブランド力の強化を進める。

⑵ 備蓄米

需要に応じた米生産を推進するため、契約数量に応じた生産に取り組む。

⑶ 非主食用米

ア　飼料用米

主食用米の価格の高騰により、主食用米への作付回帰が増加しているが、水田を活用するうえで有効な作物であることから、実需者とのマッチングや新たな需要の掘り起こしを行うとともに、認定農業者及び集落営農等、地域営農の中心的な担い手への集積を進める。

また、飼料用米の生産にあたっては、直播栽培や疎植栽培による低コスト化による取組を推進していくとともに、産地交付金を活用した多収品種の導入、種子の確保、乾燥・調製・保管体制を整備し、需要に対応した生産を図る。

イ　米粉用米、醸造用米

現在、一関地方に生産者はいないが、需要について注視していく。

ウ　新市場開拓用米

国内外の米の市場を注視し、新市場の開拓に取り組む。

エ　WCS 用稲

主食用米の価格の高騰により、主食用米への作付回帰が増加しているが、地域内の有畜農家における国産粗飼料供給源として高い需要が見込まれるとともに、水田営農環境の保全に有効な取組であることから、認定農業者及び集落営農等、地域営農の中心的な担い手への集積を進めるとともに、大規模生産及び低コスト生産を図る。

オ　加工用米

主食用米の価格の高騰により、主食用米への作付回帰が増加しているが、全農系出荷、商系出荷ともに実需と結びついた販売体系が確立し、需要に応じた持続的な供給が見込まれる作物であることから、複数年契約を基本とした継続取引を推進し、安定的な契約数量の確保、拡大を図る。

⑷ 麦、大豆、飼料作物

麦、大豆については、排水対策等の重点技術対策の実施、生産の組織化、団地化を通じた機械・施設の効率的利用と労力低減による生産コストの低減、担い手の確保・育成および

ブロックローテーションによる水田の有効利用、適切な病害発生防止対策等を推進し、需要に対応した高品質安定生産に取り組むことにより現行の麦、大豆の作付面積を維持する。

飼料作物については、有畜農家の粗飼料確保のため、担い手への集積を進める。

大豆、飼料作物については二毛作の取組を支援し、水田の高度利用を図る。

⑸ そば、なたね

そば、なたねは、地場流通、産地直売、農産物加工組織など多様な販売活動を継続し、また健康食品としての需要も見込まれることから、効率的生産と品質向上の両立を図るため、担い手への集積によるほ場の団地化、大規模化や排水対策を図りながら、現行の作付面積を維持する。

さらに、そばについては、二毛作の取組を支援し、水田の高度利用を図る。

⑹ 地力増進作物

土づくりは、作物の生育の安定、収量、品質を高めるために有効な方法であることから、野菜等の高収益作物や麦、大豆など、次期作の生産に向けた、地力増進作物のすき込みによる、土づくりの取組を支援する。

⑺ 高収益作物

園芸については、温暖な立地条件を最大限に活かした産地確立を目指し、トマト、きゅうり、なす、ピーマンなどの野菜類や、小ぎく、りんどうなどの花き類、雑穀等地域特産物の導入・拡大を推進し、多様化する流通に対応できる産地体制の整備を進めるため、管内のエリアにとらわれない安定供給や業務・加工向けの多元的な販売システムを確立する。

また、地域振興作物を設定し、これらの作物についての各種助成制度の活用や関係機関による技術的な指導・助言等により特色のある産地確立を図るとともに、担い手への集積を進める。

【地域振興作物】 きゅうり、トマト、ピーマン、なす、ねぎ、いちご、スイートコーン、はくさい、たまねぎ、りんどう、小ぎく

【地域特産作物】 そば、なたね、エゴマ

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位：ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	6,062.0		6,153.0		5,935.0	
備蓄米	0.0		0.0		77.9	
飼料用米	657.9		625.0		700.0	
米粉用米	0.0		0.0		0.0	
新市場開拓用米	13.4		15.0		20.0	
WCS用稲	644.5		630.0		670.0	
加工用米	97.4		100.0		100.0	
麦	121.8		120.0		120.0	
大豆	110.2	33.0	110.0	33.0	110.0	33.0
飼料作物	914.1	0.2	880.0	0.2	960.0	0.2
・子実用とうもろこし	1.3		1.3		5.0	
そば	18.5	0.6	18.5	0.7	20.2	0.7
なたね	6.5		6.5		7.0	
地力増進作物	0.4		0.6		3.0	
高収益作物	132.7		143.7		153.0	
・野菜	104		115.0		115.0	
・花き・花木	26		26.0		60.0	
・果樹	0.1		0.1		55.0	
・その他の高収益作物	2.6		2.6		32.0	
その他	0.0		0.0		30.0	
					2.0	
畑地化	2.5		4.0		0.5	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	飼料用米	団地化加算助成	団地化取組面積	（R7年度）603ha	（R8年度）600ha
			10ａ当たりの労働時間	（R7年度）3.9ｈ	（R8年度）3.6ｈ
2	大豆（二毛作含む）、WCS用稲	団地化加算助成	大豆：団地化面積	（R7年度）58ha	（R8年度）72ha
			10ａ当たりの労働時間	（R7年度）3.4ｈ	（R8年度）2.6ｈ
			定着度	（R7年度）33%	（R8年度）38%
			大豆（二毛作）：団地化面積	（R7年度）22ha	（R8年度）27ha
			10ａ当たりの労働時間	（R7年度）3.4ｈ	（R8年度）2.6ｈ
			定着度	（R7年度）27%	（R8年度）33%
			WCS用稲：団地化面積	（R7年度）545ha	（R8年度）590ha
			10ａ当たりの労働時間	（R7年度）3.5ｈ	（R8年度）3.3ｈ
			定着度	（R7年度）79%	（R8年度）81%
3	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、WCS用稲、そば、なたね（油糧用）	担い手集積助成１	担い手への集積面積	（R7年度）1,448ha	（R8年度）1,730ha
			担い手への集積率	（R7年度）44%	（R8年度）55%
4	野菜、果樹、花き、その他高収益作物	担い手集積助成２	担い手への集積面積	（R7年度）26ha	（R8年度）26ha
			担い手への集積率	（R7年度）19%	（R8年度）27%
5	飼料用米（多収品種）	直播型低コスト栽培助成	直播栽培面積(区分管理方式)	（R7年度）190ha	（R8年度）220ha
			生産費の低減	（R7年度）基準+11千円/10a	（R8年度）基準▲3千円/10a
6	飼料用米	飼料用米大規模作付助成	取組面積	（R7年度）11ha	（R8年度）40ha
			生産費の低減	（R7年度）基準+11千円/10a	（R8年度）基準▲3千円/10a
7	大豆、飼料作物、そば	二毛作助成（二毛作）	二毛作取組面積	（R7年度）28ha	（R8年度）36ha
			取組率	（R7年度）2.6%	（R8年度）3.5%
8	飼料用米	わら利用助成（耕畜連携）	取組面積	（R7年度）357ha	（R8年度）430ha
			飼料用米の作付面積に対する取組率	（R7年度）54%	（R8年度）59%
9	飼料作物	水田放牧助成（耕畜連携）	取組面積	（R7年度）10ha	（R8年度）10ha
			飼料作物の作付面積に対する取組率	（R7年度）1%	（R8年度）2%
10	ＷＣＳ用稲	資源循環助成（耕畜連携）	取組面積	（R7年度）429ha	（R8年度）450ha
			WCS用稲の作付面積に対する取組率	（R7年度）65%	（R8年度）66%
11	野菜、果樹、花き、その他作物	作物作付助成	作物作付面積	（R7年度）113ha	（R8年度）123ha
12	地域振興作物	地域振興作物大規模作付助成	地域振興作物の作付面積	（R7年度）18ha	（R8年度）25ha
13	地域特産作物（そば、なたね）	地域特産作物大規模作付助成	地域特産作物の作付面積	（R7年度）5ha	（R8年度）10ha
			そば10ａ当たりの収量	（R7年度）28.3kg	（R8年度）61kg
			なたね10ａ当たりの収量	（R7年度）47.3kg	（R8年度）212kg
14	加工用米	加工用米複数年契約助成	加工用米作付面積	（R7年度）87ha	（R8年度）100ha
			加工用米の作付面積に対する低コスト生産の取組率	（R7年度）85%	（R8年度）84%
			複数年契約による拡大面積（単年度）	（R7年度）▲8ha	（R8年度）5ha
15	野菜	加工・業務用作物作付助成	出荷契約面積	（R7年度）0ha	（R8年度）1ha
			定着度	（R7年度）0%	（R8年度）6%
			新規取組者（単年度）	（R7年度）なし	（R8年度）3経営体
16	そば、なたね（油糧用）	【国枠】そば、なたね作付助成	作付面積：そば	（R7年度）10.6ha	（R8年度）17ha
			10ａ当たりの収量	（R7年度）28.3kg	（R8年度）61kg
			作付面積：なたね	（R7年度）5.4ha	（R8年度）5ha
			10ａ当たりの収量	（R7年度）47.3kg	（R8年度）212kg
17	飼料用米	飼料用米低コスト生産助成（直播）	直播栽培面積	（R7年度）0.5ha	（R8年度）5ha
			生産費の低減	（R7年度）基準+11千円/10a	（R8年度）基準▲3千円/10a
18	飼料用米	飼料用米低コスト生産助成（疎植）	疎植栽培面積	（R7年度）13.9ha	（R8年度）50ha
			生産費の低減	（R7年度）基準+11千円/10a	（R8年度）基準▲3千円/10a
19	加工用米	加工用米大規模作付助成	加工用米の作付面積	（R7年度）83ha	（R8年度）100ha
20	新市場開拓用米	【国枠】コメの新市場開拓助成	新市場開拓用米の作付面積	（R7年度）0ha	（R8年度）1ha
21	新市場開拓用米	【国枠】新市場開拓用米の複数年契約助成	複数年契約取組面積	（R7年度）0ha	（R8年度）15ha
22	地力増進作物	【国枠】地力増進作物作付助成	作物作付面積	（R7年度）0ha	（R8年度）2ha
23	子実用とうもろこし	子実用とうもろこし大規模作付助成	作物作付面積	（R7年度）1.2ha	（R8年度）2ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：岩手県

協議会名：一関地方農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	団地化加算助成（認定農業者、認定新規就農者）	1	4,000	飼料用米（区分管理）	団地化の取組・1ha（1ha又は0.5ha×2団地）以上
1	団地化加算助成（認定農業者、認定新規就農者以外）	1	3,000	飼料用米（区分管理）	団地化の取組・1ha（1ha又は0.5ha×2団地）以上
2	団地化加算助成（認定農業者、認定新規就農者）	1	5,000	大豆・基幹作	団地化の取組・個人・法人2ha（2ha又は1ha×2団地）以上 ・組織4ha（4ha又は2ha×2団地）以上
2	団地化加算助成（認定農業者、認定新規就農者以外）	1	4,000	大豆・基幹作	団地化の取組・個人・法人2ha（2ha又は1ha×2団地）以上 ・組織4ha（4ha又は2ha×2団地）以上
2	団地化加算助成（認定農業者、認定新規就農者）	2	5,000	大豆・二毛作	団地化の取組・個人・法人2ha（2ha又は1ha×2団地）以上 ・組織4ha（4ha又は2ha×2団地）以上
2	団地化加算助成（認定農業者、認定新規就農者以外）	2	4,000	大豆・二毛作	団地化の取組・個人・法人2ha（2ha又は1ha×2団地）以上 ・組織4ha（4ha又は2ha×2団地）以上
2	団地化加算助成（認定農業者、認定新規就農者）	1	2,000	WCS用稲	団地化の取組・1ha（1ha又は0.5ha×2団地）以上
2	団地化加算助成（認定農業者、認定新規就農者以外）	1	1,000	WCS用稲	団地化の取組・1ha（1ha又は0.5ha×2団地）以上
3	担い手集積助成1（個人）	1	8,000	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、WCS用稲、そば、なたね（油糧用）	3営農年以上の利用権設定による集積
3	担い手集積助成1（法人）	1	6,000	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、WCS用稲、そば、なたね（油糧用）	1ha以上の集積
3	担い手集積助成1（組織）	1	3,000	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、WCS用稲、そば、なたね（油糧用）	1ha以上の集積
4	担い手集積助成2（個人）	1	5,000	野菜、果樹、花き、その他高収益作物	3営農年以上の利用権設定による集積
4	担い手集積助成2（法人）	1	5,000	野菜、果樹、花き、その他高収益作物	1ha以上の集積
4	担い手集積助成2（組織）	1	3,000	野菜、果樹、花き、その他高収益作物	1ha以上の集積
5	直播型低コスト栽培助成	1	4,000	飼料用米（多収品種）	直播栽培の実施
6	飼料用米大規模作付助成	1	6,000	飼料用米（一括管理）	1ha以上の作付
7	二毛作助成（二毛作）	2	6,000	大豆、飼料作物、そば	主食用米と対象作物、または麦・大豆・飼料作物・WCS用稲・そば・なたねと対象作物との二毛作
8	わら利用助成（耕畜連携）	3	7,000	飼料用米	稲わらを家畜の粗飼料として、畜産農家へ供給または自家家畜へ利用
9	水田放牧助成（耕畜連携）	3	3,000	飼料作物	飼料作物を水田に作付し、牛を放牧する取組
10	資源循環助成（耕畜連携）	3	6,000	WCS用稲	粗飼料を畜産農家へ供給し、そこから生産された堆肥をWCS用稲生産水田へ散布
11	作物作付助成（地域振興作物）	1	40,000	地域振興作物（ピーマン、りんどう、小ぎくなど）	作付面積に応じて支援
11	作物作付助成（その他作物）	1	8,000	地域振興作物以外の高収益作物（野菜、花き等）	作付面積に応じて支援
12	地域振興作物大規模作付助成	1	10,000	地域振興作物（ピーマン、りんどう、小ぎくなど）	1作物で1ha（個人の場合は0.5ha）以上の作付
13	地域特産作物大規模作付助成	1	7,000	地域特産作物（そば、なたね）	1作物で1ha（個人の場合は0.5ha）以上の作付
14	加工用米複数年契約助成	1	6,000	加工用米	3年以上の複数年契約
15	加工・業務用作物作付助成	1	10,000	野菜	作付面積に応じて支援
16	【国枠】そば、なたね作付助成	1	20,000	そば、なたね	作付面積に応じて支援
17	飼料用米低コスト生産助成（直播）	1	4,000	飼料用米（主食用品種）	直播栽培の取組
18	飼料用米低コスト生産助成（疎植）	1	2,000	飼料用米（主食用品種）	疎植栽培の取組（移植密度が慣行栽培の80%以下）
19	加工用米大規模作付助成	1	6,000	加工用米	1ha以上の作付
20	【国枠】コメの新市場開拓助成	1	20,000	新市場開拓用米	作付面積に応じて支援
21	【国枠】新市場開拓用米複数年契約助成	1	10,000	新市場開拓用米	複数年契約取組面積
22	【国枠】地力増進作物作付助成	1	20,000	地力増進作物	作付面積に応じて支援
23	子実用とうもろこし大規模作付助成	1	6,000	子実用とうもろこし	1ha以上の作付

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3 産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4 産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

（別表1）作物作付助成対象作物一覧

区分	作物名	地域振興 地域特産	園芸 重点 品目	整理番号 No.4	整理番号 No.11 （円/10a）	整理番号 No.12	整理番号 No.15 ※ただし、 No.12との重 複不可。	整理番号 No.22	土地利用型 野菜作付助成 （県枠）
野菜	いちご	地域振興作物		●	40,000	●	●		
	きゅうり	地域振興作物	●	●	40,000	●	●		
	スイートコーン	地域振興作物		●	40,000	●	●		
	たまねぎ	地域振興作物		(●)	(40,000)	(●)	●		●
	トマト（加工用を除く）	地域振興作物	●	●	40,000	●	●		
	加工用トマト				(8,000)		●		●
	なす	地域振興作物	●	●	40,000	●	●		
	ねぎ	地域振興作物		(●)	(40,000)	(●)	●		●
	はくさい	地域振興作物		●	40,000	●	●		
	ピーマン	地域振興作物	●	●	40,000	●	●		
	アスパラガス			●	8,000		●		
	うど			●	8,000		●		
	うるい			●	8,000		●		
	えだまめ			(●)	(8,000)		●		●
	エシャロット			●	8,000		●		
	かぼちゃ			●	8,000		●		
	カラシ			●	8,000		●		
	キャベツ			(●)	(8,000)		●		●
	ごぼう			●	8,000		●		
	さといも			●	8,000		●		
	さやえんどう			●	8,000		●		
	しどけ			●	8,000		●		
	ぜんまい			●	8,000		●		
	だいこん			●	8,000		●		
	たらの芽			●	8,000		●		
	ながいも			●	8,000		●		
	なばな			●	8,000		●		
	にら			●	8,000		●		
	にんじん			(●)	(8,000)		●		●
	にんにく			(●)	(8,000)		●		●
	のびる			●	8,000		●		
	ふき			●	8,000		●		
	ブロッコリー			●	8,000		●		
	ほうれんそう			●	8,000		●		
	やまいも			●	8,000		●		
	レタス			●	8,000		●		
	わらび			●	8,000		●		
	アイスプラント			●	8,000		●		
	あさつき			●	8,000		●		
	アスパラ菜			●	8,000		●		
	いんげん			●	8,000		●		
	うり			●	8,000		●		
	おかわかめ			●	8,000		●		
	オクラ			●	8,000		●		
	かぶ			●	8,000		●		
	カリフラワー（カリフラワー、オレンジカリフラワー、紫カリフラワー、ロマネスコ）			●	8,000		●		
	かんしょ			●	8,000		●		
	きくいも			●	8,000		●		
	きのこ類（しいたけ、まいたけ、えのきたけ、しめじ、なめこ）			●	8,000		●		
	ぎょうじゃにんにく			●	8,000		●		
	グリーンピース			●	8,000		●		
	クレソン			●	8,000		●		
	くわい			●	8,000		●		
	ゴーヤ			●	8,000		●		
	こごみ			●	8,000		●		
	こしあぶら			●	8,000		●		
	小松菜			●	8,000		●		
	コモチカンラン			●	8,000		●		
	こんにゃく芋			●	8,000		●		

区分	作物名	地域振興 地域特産	園芸 重点 品目	整理番号 No.4	整理番号 No.11 （円/10a）	整理番号 No.12	整理番号 No.15 ※ただし、 No.12との重 複不可。	整理番号 No.22	土地利用型 野菜作付助成 （県枠）
	ささげ			●	8,000		●		
	さやいんげん			●	8,000		●		
	ししとう			●	8,000		●		
	しそ			●	8,000		●		
	しゅんぎく			●	8,000		●		
	しょうが			●	8,000		●		
	食用菊			●	8,000		●		
	すいか			●	8,000		●		
	ズッキーニ			●	8,000		●		
	スナップエンドウ			●	8,000		●		
	西洋ねぎ（リーキ）			●	8,000		●		
	せり			●	8,000		●		
	セルリー（セロリ）			●	8,000		●		
	そらまめ			●	8,000		●		
	ターサイ			●	8,000		●		
	たかのつめ			●	8,000		●		
	チンゲンサイ			●	8,000		●		
	つけな類(こまつ菜、みず菜、のざわ菜、からし菜、つぼみ菜)			●	8,000		●		
	ツルムラサキ			●	8,000		●		
	とうがらし			●	8,000		●		
	とうもろこし（爆裂種）			●	8,000		●		
	冬瓜			●	8,000		●		
	はす			●	8,000		●		
	パプリカ			●	8,000		●		
	ばれいしょ			（●）	（8,000）		●		●
	プチヴェール			●	8,000		●		
	ほどいも			●	8,000		●		
	マコモ			●	8,000		●		
	マコモタケ			●	8,000		●		
	みず			●	8,000		●		
	みつば			●	8,000		●		
	みょうが			●	8,000		●		
	メロン			●	8,000		●		
	モロヘイヤ			●	8,000		●		
	ヤーコン			●	8,000		●		
	夕顔			●	8,000		●		
	らっきょう			●	8,000		●		
	れんこん			●	8,000		●		
	わけぎ			●	8,000		●		
	わさび			●	8,000		●		
	サラダ菜			●	8,000		●		
	ラディッシュ			●	8,000		●		
	アーティチョーク			●	8,000		●		
	ビーツ			●	8,000		●		
	ケール			●	8,000		●		
	ハーブ（ミント、バジル、タイム、ローリエ、パクチー、ルッコラ、ローズマリー、パセリ）			●	8,000		●		
	チーマディラーパ			●	8,000		●		
	トレビス			●	8,000		●		
	カステルフランコ			●	8,000		●		
	スティッキオ			●	8,000		●		
	サニーレタス			●	8,000		●		
	セロリアック			●	8,000		●		
	ホオズキ			●	8,000		●		
	落花生			●	8,000		●		

区分	作物名	地域振興 地域特産	園芸 重点 品目	整理番号 No.4	整理番号 No.11 （円/10a）	整理番号 No.12	整理番号 No.15 ※ただし、 No.12との重 複不可。	整理番号 No.22	土地利用型 野菜作付助成 （県枠）
花き	りんどう	地域振興作物	●	●	40,000	●			
	小ぎく	地域振興作物	●	●	40,000	●			
	ストック			●	8,000				
	スターチス			●	8,000				
	トルコギキョウ			●	8,000				
	ゆり			●	8,000				
	輪ぎく			●	8,000				
	スプレーぎく			●	8,000				
	カーネーション			●	8,000				
	シクラメン			●	8,000				
	はす			●	8,000				
	ばら			●	8,000				
	かすみそう			●	8,000				
	洋ラン類（コチョウラン、デンドロビュウム、シンビジュウム、オンシジュウム、カトレア）			●	8,000				
	オミナエシ			●	8,000				
	テイカカズラ			●	8,000				
	ガーベラ			●	8,000				
	アルストロメリア			●	8,000				
	ラベンダー			●	8,000				
	ヒマワリ			●	8,000				
	ベコニア			●	8,000				
	ストレプトカーパス			●	8,000				
	シャクヤク			●	8,000				
	ボタン			●	8,000				
	アスター			●	8,000				
	アジサイ			●	8,000				
	マリーゴールド			●	8,000				
	菜の花			●	8,000				
	レンゲ			●	8,000				
	コスモス			●	8,000				
	つつじ			●	8,000				
	はぎ			●	8,000				
	サルビア			●	8,000				
	ダリア			●	8,000				
	ハーブ（レモングラス、カモミール、ラベンダー、オレガノ）			●	8,000				
	花しょうぶ			●	8,000				
	アヤメ			●	8,000				
	たいつり草			●	8,000				
	アゲラタム			●	8,000				
	メランポジウム			●	8,000				
	ワレモコウ			●	8,000				
	ハナミズキ			●	8,000				

区分	作物名	地域振興 地域特産	園芸 重点 品目	整理番号 No.4	整理番号 No.11 （円/10a）	整理番号 No.12	整理番号 No.15 ※ただし、 No.12との重 複不可。	整理番号 No.22	土地利用型 野菜作付助成 （県枠）
果樹	ブルーベリー			●	8,000				
	カリン			●	8,000				
	きいちご			●	8,000				
	すぐり			●	8,000				
	ハスカップ			●	8,000				
	いちじく			●	8,000				
	うめ			●	8,000				
	おうとう			●	8,000				
	かき			●	8,000				
	キウイフルーツ			●	8,000				
	くり			●	8,000				
	くるみ			●	8,000				
	サクランボ			●	8,000				
	ざくろ			●	8,000				
	西洋なし			●	8,000				
	日本なし			●	8,000				
	びわ			●	8,000				
	ぶどう			●	8,000				
	プルーン			●	8,000				
	みかん			●	8,000				
	もも			●	8,000				
	りんご			●	8,000				
	やまぶどう			●	8,000				
	あけび			●	8,000				
地力増進作物	イタリアンライグラス			●				●	
	エビスグサ			●				●	
	エン麦			●				●	
	ギニアグラス			●				●	
	クローバー			●				●	
	シロカラシ			●				●	
	スーダングラス			●				●	
	ソルガム			●				●	
	大豆			●				●	
	とうもろこし			●				●	
	ナギナタガヤ			●				●	
	ヒマワリ			●				●	
	ヘアリーベッチ			●				●	
	ベニバナツメクサ			●				●	
	マリーゴールド			●				●	
	ヤハズエンドウ			●				●	
	ソルゴー			●				●	
	ライ麦			●				●	
	レンゲ			●				●	
	クロラタリア			●				●	
	セスバニア			●				●	
	ナタネ			●				●	
	カラシナ			●				●	
	ハゼリソウ			●				●	
雑穀	あわ			●	8,000				
	きび			●	8,000				
	小豆			●	8,000				
	アマランサス			●	8,000				
	モロコシ（たかきび）			●	8,000				
	エゴマ	地域特産作物		●	40,000				

区分	作物名	地域振興 地域特産	園芸 重点 品目	整理番号 No.4	整理番号 No.11 （円/10a）	整理番号 No.12	整理番号 No.15 ※ただし、 No.12との重 複不可。	整理番号 No.22	土地利用型 野菜作付助成 （県枠）
その他	葉たばこ			●	8,000				
	ホップ			●	8,000				
	加工用青刈り稲			●	8,000				
	ヒマワリ（搾油用）			●	8,000				
	野菜の対象作物の苗（なす、トマト、きゅうり、ねぎ）			●	8,000				
	花きの対象作物の苗（マリーゴールド、サルビア、アゲラタム、メランポジューム）			●	8,000				
	野菜の対象作物の球根（たまねぎ）			●	8,000				
	一筆に上記記載作物の複数栽培			●	8,000				

（別表2）地域振興作物等大規模作付助成対象作物一覧

区分	作物名
地域振興作物	きゅうり
	トマト(加工用除く)
	ピーマン
	なす
	いちご
	スイートコーン
	はくさい
	りんどう
	小ぎく

（別表3）耕畜連携助成水田放牧対象飼料作物等一覧

区分	作物名
水田放牧	ソルガム
	テオシント
	スーダングラス
	麦（らい麦またはえん麦を含む。）
	大豆
	ひえ
	しこくびえ
	オーチャードグラス
	チモシー
	イタリアンライグラス
	ペレニアルライグラス
	ハイブリットライグラス
	スムーズブロムグラス
	トールフェスク
	メドーフェスク
	フェストロリウム
	ケンタッキーブルーグラス
	リードカナリーグラス
	バヒアグラス
	ギニアグラス
	カラードギニアグラス
	アルファルファ
	オオクサキビ
	アカクローバ
	シロクローバ
	アルサイククローバ
	ガレガ
	ローズグラス
	パラグラス
	パンゴラグラス
	ネピアグラス
	セタリア
	飼料用ビート

（別表4）飼料作物一覧

区分	作物名
飼料作物	青刈りとうもろこし
	ソルガム
	その他青刈り
	永年性牧草
	イタリアンライグラス
	その他一年生牧草
	飼料用根菜類
	飼料用穀類
	永年性牧草
	イタリアンライグラス
	スーダングラス
	オーチャードグラス
	チモシー
	フェストロリウム
	らい麦
	えん麦
	クローバー
	ひえ
	その他飼料用穀類
	その他飼料作物
	わら専用稲
	子実用とうもろこし